

大便器用自動洗浄器

Flush Man

フラッシュマン FD シリーズ

このたびは「フラッシュマン FDシリーズ」を
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能が
十分に発揮されますよう、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。なお、お読みになった後は、大切に保管してください。

製品の特長	1	取付手順	5,6,7,9
仕様	2	調整	8
安全上のご注意	2	電池交換	10
各部の名称	3	赤 LED 点滅のパターン	11
取付可能な既存水栓	3	故障かな?と思ったら	12
使用方法	4	製品保証とアフターサービス	13

工事業者様へのお願い 必ずユーザー様へお渡しください。

製品の特長

フラッシュマンは、コンパクトなボディに多彩な機能を満載しています。

簡単取付

設定は P5 へ ▶

既設のフラッシュバルブに後付けするだけなので、簡単な工事で装着でき、すぐにご利用いただけます。

非接触操作

非接触での自動洗浄で使用者の負担を減らすことができ、節水や清潔維持にお役立ていただけます。

大小洗浄切替

設定は P8 へ ▶

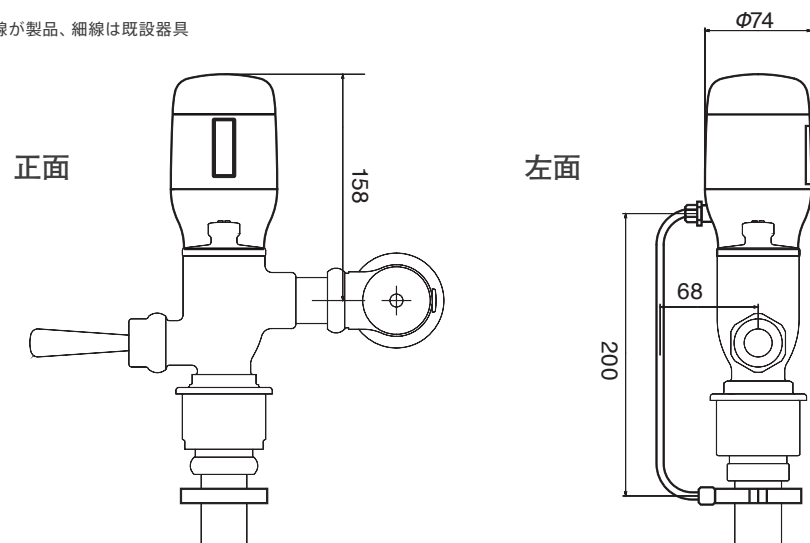
使用者の感知時間から大洗浄、小洗浄の切り替えを行います。

レバー使用可能

既存のレバーを残しますので、任意に水を流せます。電池切れや自動洗浄しなかった場合でも安心です。

外観図面

※太線が製品、細線は既設器具

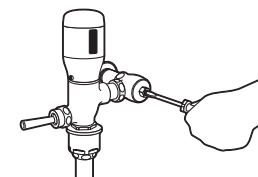


仕様

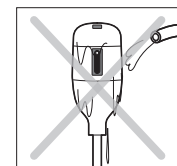
使用電源	単三アルカリ乾電池2本
電池寿命	月4000回使用時で約3年
洗浄	感知時間が120秒未満 → 小洗浄水量 120秒以上 → 大洗浄水量
設備保護洗浄	小洗浄が連続する場合は、配管つまり防止のため、使用状況に応じて大洗浄を行う。
自動洗浄停止モード	本体背面のボタンを長押しすると5分間自動洗浄停止します。
電池交換通知	LEDが赤く点滅し、電池の交換時期をお知らせします。
外装	ABS樹脂/樹脂フランジ/ガラスセンサ窓
適応水圧	最低水圧0.075MPa(流動時) 最高水圧0.75MPa

安全上のご注意

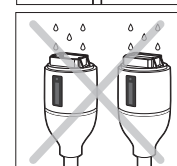
万が一水が止まらなくなった時は、フラッシュバルブの止水栓で止水してください。(図参照)そのまま放置しておきますと、漏水による故障の原因となります。



フラッシュマンを取付ける前に、排水に詰まりがないか確かめください。排水が不十分な状態で使用しますと、水があふれ、漏水事故の原因となります。



本器は電子機器です。直接水をかけないでください。また取付け時や電池交換時は濡れた手で作業しないでください。水がかかると動作不良や乾電池のショートによる発熱・発火等の原因となります。

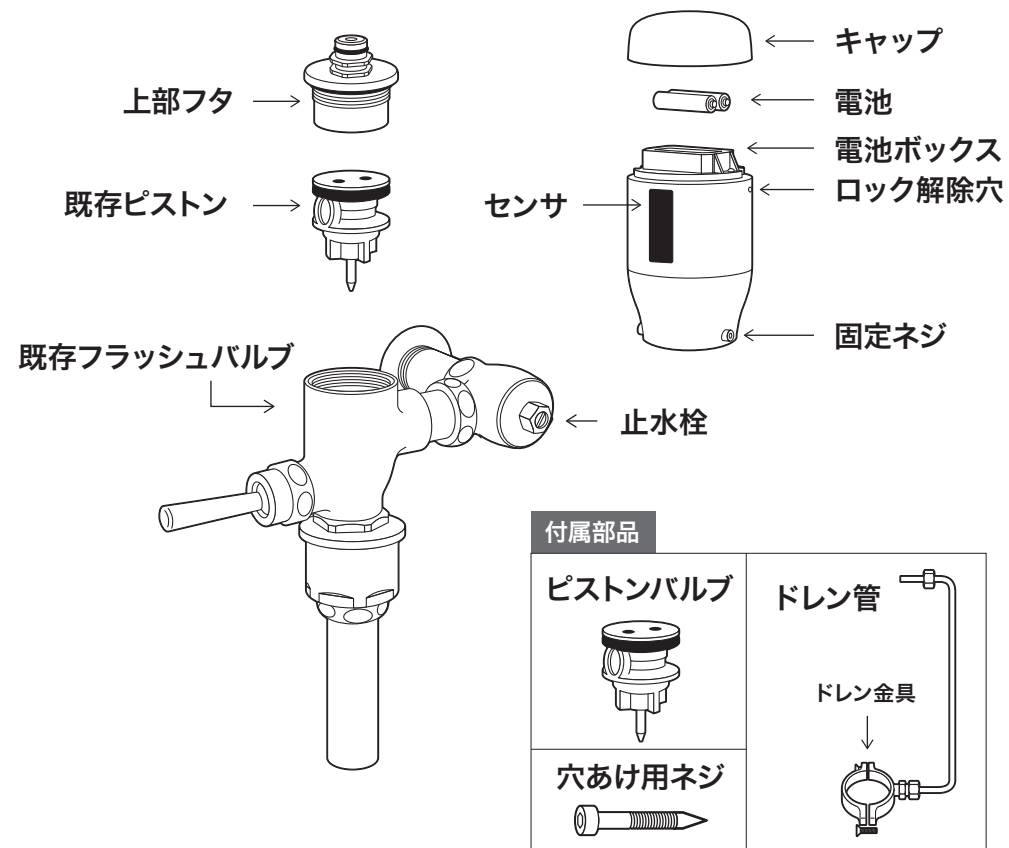


お手入れの際、酸性・アルカリ性洗剤・クレンザー類は使用しないでください。またナイロンたわしやブラシ等でゴシゴシ擦らないでください。



本器をご自分で分解・修理しないでください。故障の原因となります。

各部の名称

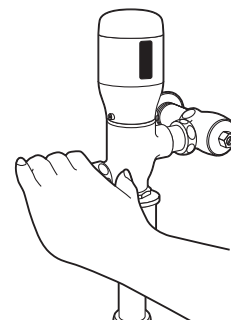
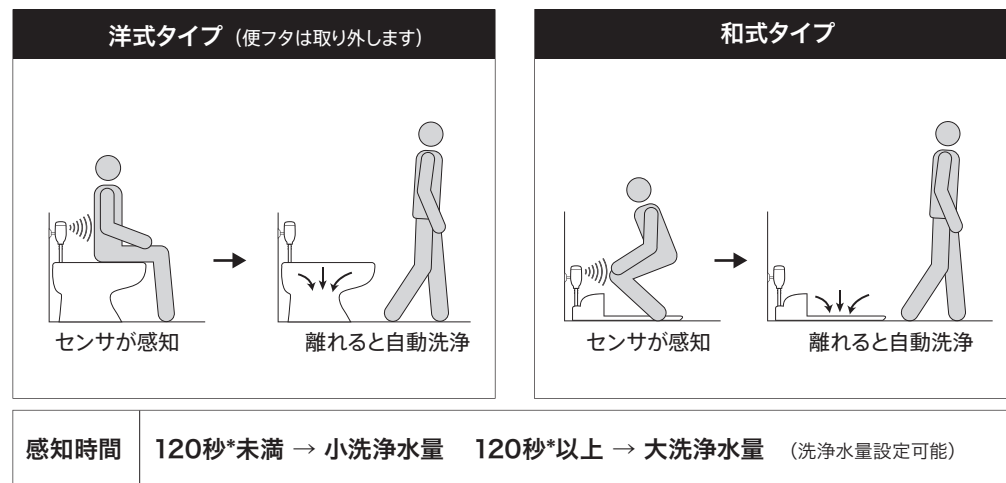


取付可能なフラッシュバルブ

メーカー	TOTO			INAX	
取付可能なフラッシュバルブ					
既設フラッシュバルブ品番	TV150	TV750	TV550	フタが六角ネジ	フタがカバー付き
適合するフラッシュマン品番	FDT-S(W)			FDL1-S(W)	FDL2-S(W)

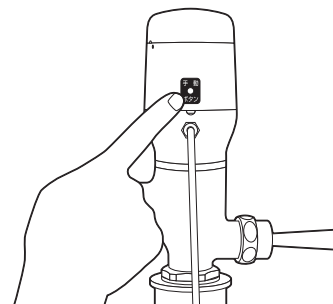
使用方法

自動洗浄の動作 センサが使用者を感知し、便器から離れると自動で水が流れます。



既存レバーも機能しますので、レバーを押すと水を流すことができます。

※万が一、動作停止時でもレバーを押すことで水を流すことができます。



自動洗浄停止モード

本体背面のボタンを長押しすると“ピッ”鳴り、5分間自動洗浄を停止します。停止モード中はLEDが赤く点滅します。

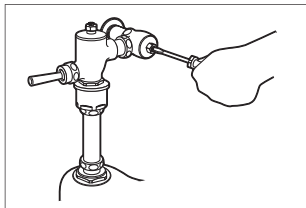
5分経過すると自動解除します

途中で解除する場合は、もう一度背面ボタンを押してください。

取付手順

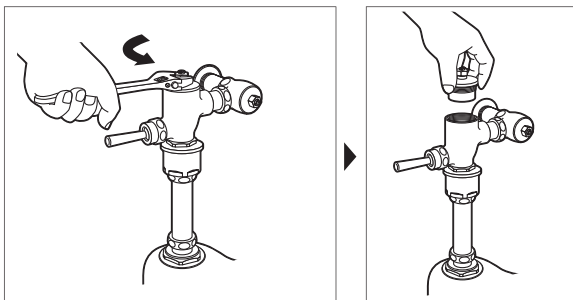
取付作業時にネジ、部品等を便器内に落とさないよう注意してください。洋式タイプの便器に設置する場合は、弁フタを取り外してください。

STEP 1 止水栓を締めて、止水します。



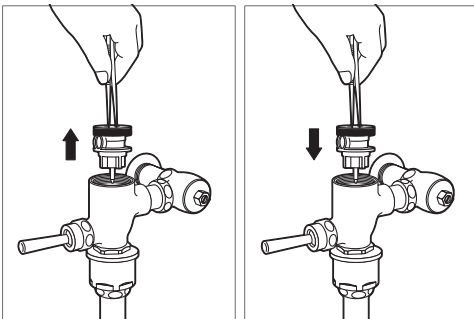
STEP 2 フタを取り外す。

モーターレンチで既存のフタを取り外します。フタが固い場合は柄が長めのモーターレンチを使用するか、潤滑油をご使用ください。



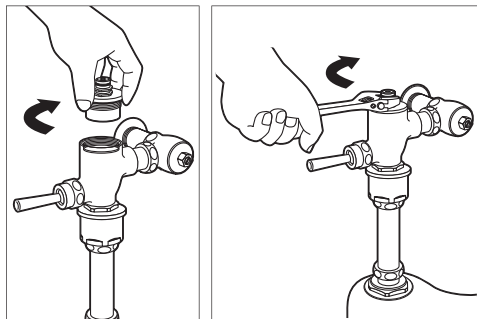
STEP 3 ピストンバルブの交換

ピストンバルブを取り出し、付属の新しいピストンバルブと交換してください。



STEP 4 上部フタの取付

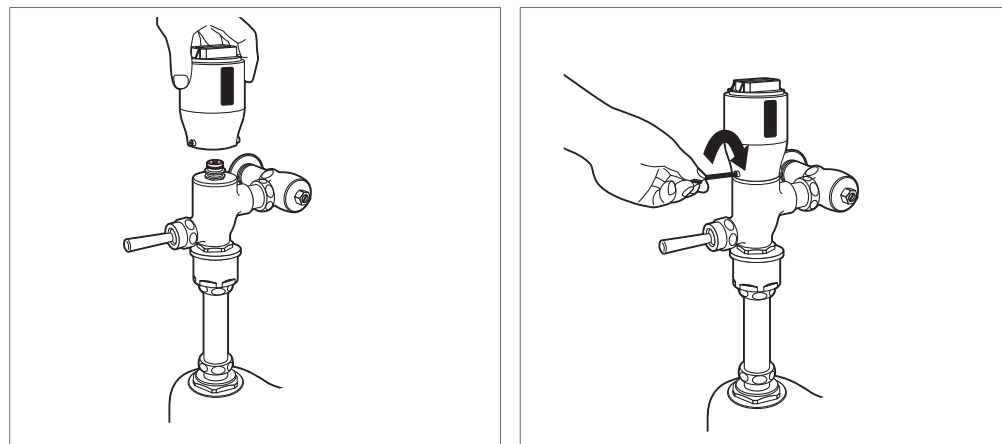
上部フタをねじ込み、モーターレンチで締め込みます。



STEP 5 本体の取付

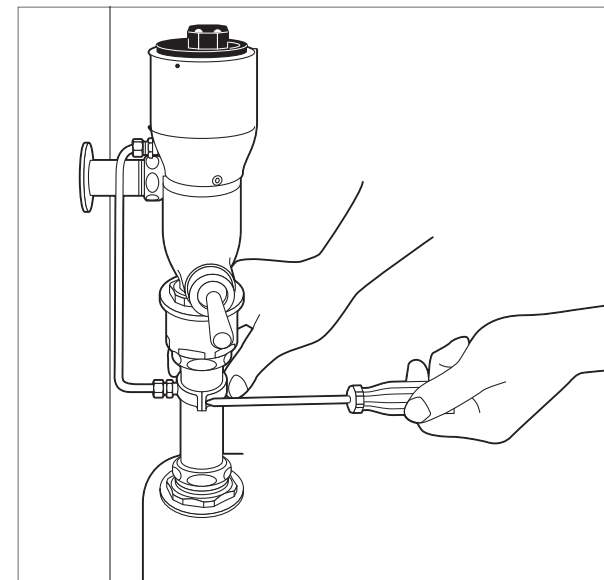
上部フタの上に本体をはめ込み、六角レンチで2か所のネジ締めして固定します。

※注意 左右均等に締めて固定してください。締めすぎないようにご注意ください。



STEP 6 ドレン管の位置合わせ **※重要**

洗浄管にドレン金具を軽く取り付け、ドレン管を差し込みます。ドレン管接続部のナットを手で絞め、ドレン管と洗浄管が平行になるようドレン金具の位置を決めます。位置が決まったらドレン金具の固定ネジを均等に締め付け固定します。

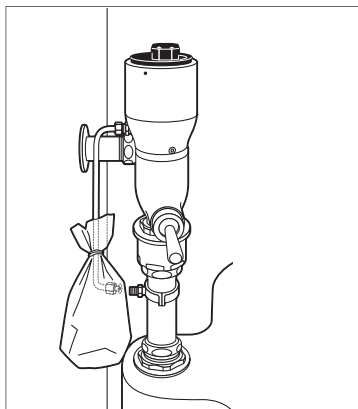


STEP 7 >>

本番の配管前(洗浄管への穴あけ前)に、正常に洗浄ができるかテストをします。(STEP 7 ~ STEP 10)

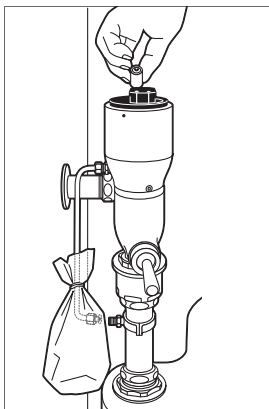
STEP 7 テスト洗浄の準備

ドレン金具の位置決めが終わったら、ドレン金具側(下部)のナットをはずし、ドレン管に付属のビニール袋を付けて覆います。



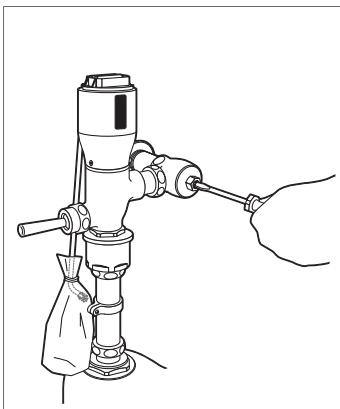
STEP 8 電池装着

電池を装着します。



STEP 9 止水栓を開ける

止水栓を開け、水漏れがないか確認します。



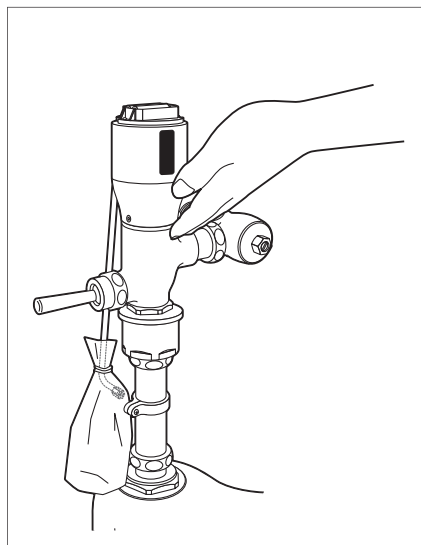
STEP 10 テスト洗浄 動作確認

※重要

センサ窓に手を近づけて、洗浄の確認をします。確認作業は、必ず水量の少ない小洗浄※で行ってください。

※小洗浄
センサ窓に手を近づけて6秒以上(～120秒以内)で手をはなす

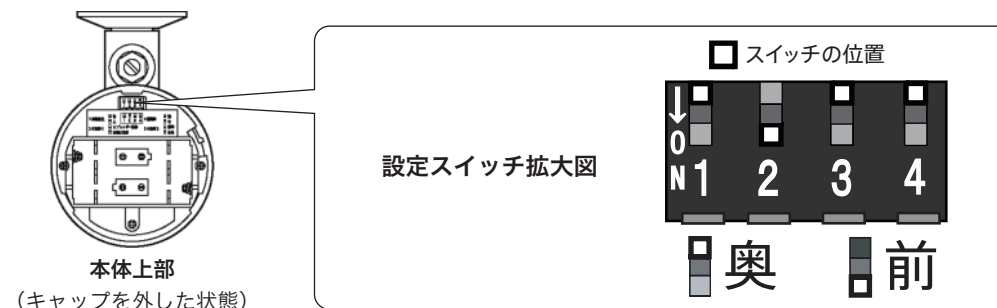
洗浄性能の確認(—JIS 規格「大便器洗浄試験」に基づく—)
約7.6cmに切ったトイレトーパーを丸めたもの7個が、1度に流れる事を確認してください。流れ切らない場合は、止水栓を開けて水量を増やしてください。それでも流れない場合は、洗浄水量設定スイッチで洗浄時間を調節します。



洗浄水量設定方法は P8へ

調整

洗浄水量の調整



本体上部
(キャップを外した状態)

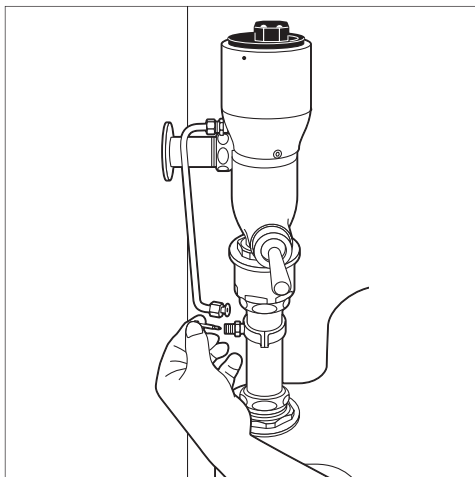
小洗浄電磁弁開時間			大洗浄電磁弁開時間		
設定時間	スイッチ No. 1	スイッチ No. 2	設定時間 (小洗浄+)	スイッチ No. 3	スイッチ No. 4
2 秒	↓ ON	↓ ON	+3 秒 (出荷時設定)	↓ ON	↓ ON
3 秒	↓ ON	↓ ON	+4 秒	↓ ON	↓ ON
4 秒 (出荷時設定)	↓ ON	↓ ON	+5 秒	↓ ON	↓ ON
5 秒	↓ ON	↓ ON	+6 秒	↓ ON	↓ ON

水量が多い場合は止水栓で調節

STEP 11 へ

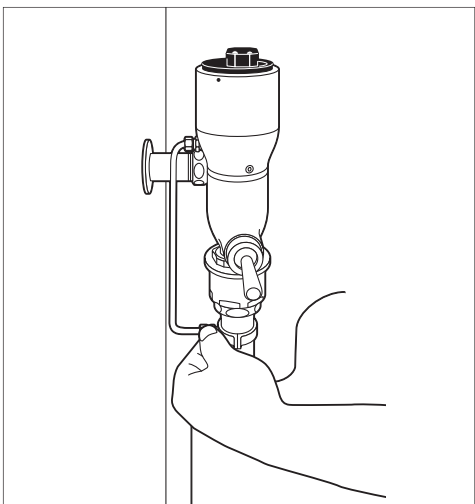
STEP 11 洗浄管の穴あけ準備

テスト洗浄が終わったら、ドレン管を覆っていたビニール袋をはずし、付属の穴あけ用ネジを用意します。



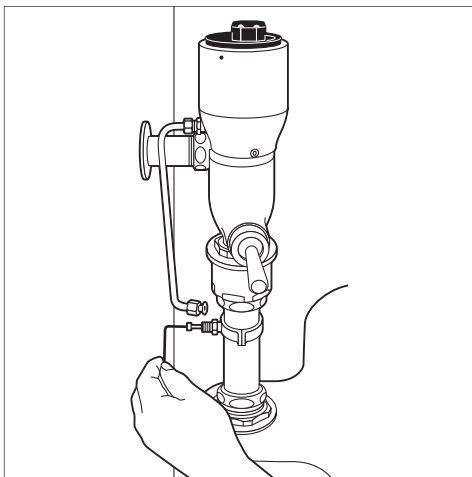
STEP 13 ドレン管固定

ずらしていたドレン管を再びドレン金具に接続し、ナットを締めて固定します。またドレン金具を固定するネジ(2か所)を増締めします。



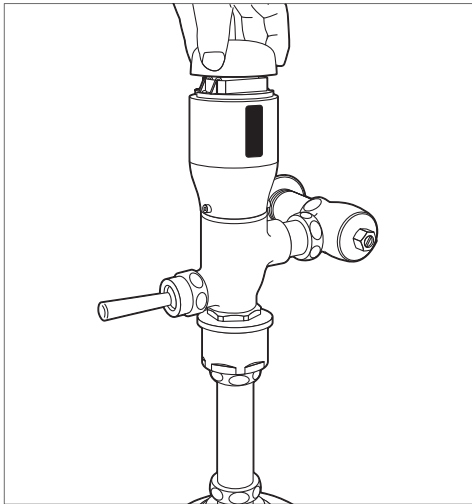
STEP 12 洗浄管の穴あけ

穴あけ用ネジをドレン金具に差し込み、六角レンチでいっばいまでねじ込みます。洗浄管に排水用の穴があきます。



STEP 14 取付完了

キャップをかぶせてロックします。



電池交換

電池交換の際は必ず新品の単3アルカリ乾電池2本を用意してください。

電池が消耗すると、感知窓の赤LEDが常時点滅してお知らせします。このサインが出たら、早めに電池を交換してください。

※上記のサインが出てもしばらくは通常動作を続けますが、やがて洗浄を停止します。

STEP 1 キャップを開ける。

本体右側上部にある[ロック解除穴]につまようじを差し込み、奥に押し込みます。この状態でキャップを時計と反対方向へ回しキャップの小さな突起と[ロック解除穴]が合ったところで上に引き上げます。



STEP 2 使用済み電池を2本とも取り出す。

洗浄動作中に電池を取り出すと水が出たままとなりますが、新しい電池を入れると止水します。



STEP 3 新しい電池を電池ケースに装着する。

用意した新品の単3アルカリ乾電池の＋を確かめて向きを間違えないようにきちんと差し込みます。

※マンガン乾電池は絶対に使用しないでください。誤動作や電池液漏れの原因になります。



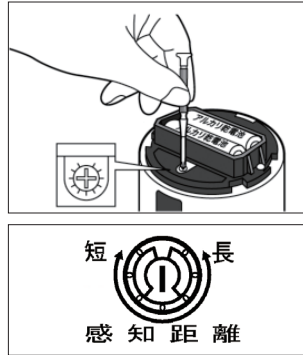
STEP 4 キャップを閉じる。

キャップの小さな突起と本体の[ロック解除穴]を合わせて被せ、キャップを時計と同じ方向に「カチッ」と音がするまで回します。

感知距離の調整

感知距離調整ボリュームで感知距離の調整をすることができます。

感知距離表示シールをめくり、調整ボリュームを「短」から「長」の方向へゆっくり回しながら、ご使用上感度のよい距離の調整をおこなう。



赤 LED 点滅パターン

秒数 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

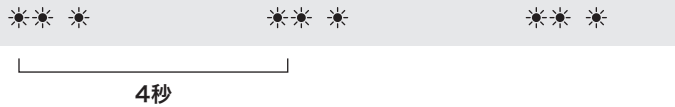
【電池交換予告】

1秒間隔で1回点滅



【動作停止表示】

4秒間隔で3回点滅



【センサ連続検知 10分間】

10秒間隔で4回点滅



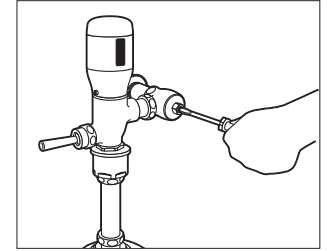
故障かな?と思ったら

「故障かな?」と思ったら、以下の事項をご確認ください。

状況が改善されない場合は、ユーザーサポート窓口:0120-474-647へお問い合わせください。

緊急時の止水方法

万が一水が止まらなくなった時は、フラッシュバルブの止水栓 (右図参照)、または、水道の元栓を閉めて止水してください。そのまま放置しておきますと、漏水による事故の原因となります。



現象	原因	対処	参照
水が流れない		電池を交換してください。	P10
		感知距離を長くしてください。	P11
		障害物を取り除くか、感知距離を短くしてください。	P11
		止水栓を十分開けてください。 直射光を遮ってください。	
水がわずかに漏れている	取り付け部分のパッキンにゴミがかんでいる	本体を取り外し、パッキンのゴミを取り除いてください。	
LEDが点滅している		P11の点滅パターンをご参照ください。	

製品保証とアフターサービス

本製品の保証期間はご購入日より3年間です。詳細は同梱の製品保証書をご覧ください。

製品保証をお受けいただくためには、品番・製造番号・お客様名・工事店または販売店が明記された製品同梱の製品保証書のご呈示が必要です。本製品を設置またはご購入いただいた際は製品同梱の製品保証書に必要事項が明記されていることを必ずご確認ください、紛失しないように保管してください。

修理のご相談はお求めの下記、取付店・販売店へ

取付店・販売店	〒
電話番号:	— —

ミナミサワでは取り付け・取り外しが簡単な特徴を活かして、お客様ご自身でも交換できる【クイック交換システム】をご用意しております。

(株)ミナミサワ ユーザーサポート窓口 ☎ 0120-474-647

クイック交換システム

(株)ミナミサワから速やかに交換品(必要な場合は工具も同梱)を発送します。

同梱のマニュアルにしたがって、製品を交換してください。(作業時間は5~10分程度)

不具合品を同梱の着払い伝票を使ってご返送ください。

※保証期間中(有効な製品保証書ご呈示が必要)はクイック交換システムにより製品を無償交換いたします。

※保証期間経過後はクイック交換により製品を交換し、不具合品が戻った後修理代金をご請求いたします。

但し、製造終了後6年を経過した製品については、アフターサービスをお受けできない場合があります。

製造元	商品名		
株式会社ミナミサワ 〒381-0044 長野県長野市中越1-2-22 http://www.minamisawa.co.jp ユーザーサポート窓口 TEL ☎ 0120-474-647 または 026-263-3730 (平日 9:00~18:00) FAX ☎ 0120-263-403 または 026-263-8700 (24 時間)	フラッシュマン FD シリーズ		
	品番	製造番号	
	購入年月日		
	年	月	日